

くにびき通信



はじめに

今年の梅雨は全くの空梅雨でほとんど雨が降らない6月でした。そんな6月が終わりいよいよ暑い夏、しかし、子ども達が待ちに待った季節がやって来ました。楽しみにしている海の活動の始まりです。海なし県で育った私にとって海は全くの未知の世界で、2年目といえどもやはり少し恐怖を感じながらの活動ですが、子ども達にとっては、本当に楽しみで嬉しくて仕方がないといった様子でした。2週に渡って4日間の海の活動でしたが、天候にも恵まれそれぞれが満足した活動ができたのではないかと思います。とはいえ、それだけが山留生の生活ではありません。もちろん、畑の草もによきによき伸びるので、学校へ行く前の涼しい時間に1時間くらい草取りをしたり、1学期のまとめの大掃除も短期集中で頑張って綺麗にしたりしていました。

そんなこんなであっという間に1学期が終わろうとしています。子ども達はみな「楽しかった」「短かった」「あっという間だった」と振り返ります。そして、次に出る言葉は「早く家に帰りたい」です。楽しいこともたくさんありました。しかし、何も言わないけれど、きっと大変だったこともたくさんあるはずです。本当にみんな1学期頑張ったと思います。長い楽しみにしてた夏休みを家で十分に充電してパワーを蓄え、また2学期元気に戻ってきて欲しいと思います。

大田市山村留学センター
指導員 吉澤 かおり

活動カレンダー

6月14日(土)	かたら餅作り&そば打ち	5日(土)	魚津海水浴 自炊活動
21日(土)	ピザ作り、五右衛門風呂	6日(日)	島津屋海岸清掃
22日(日)	昔の生活体験 (PTA共催)		大掃除
21日~22日	親子行事	12日(土)	島津屋海キャンプ
24日(火)	農家入り	~13日(日)	
7月3日(木)	センター入り	19日(土)	五十猛祭 畑作業
		20日(日)	帰省

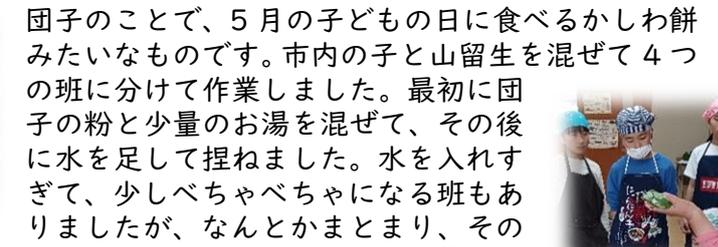
かたら餅作り&そば打ち 6/14(土) 曇りのち雨

この日は一般公募した10名の市内参加者と一緒にかたら餅作りとそば打ちをしました。

まず、地元の月森さんに教えてもらいながら、かたら餅を作りました。

かたら餅とは、サルトリイバラの葉で包んで蒸すお団子のことで、5月の子どもの日に食べるかしわ餅みたいなものです。市内の子と山留生を混ぜて4つの班に分けて作業しました。最初に団子の粉と少量のお湯を混ぜて、その後水を足して捏ねました。水を入れすぎて、少しべちゃべちゃになる班もありましたが、なんとかまとまり、その中に餡子を入れて包んでかたらの葉で挟んで蒸し器の中へ入れました。15分ぐらい蒸してかたら餅ができ上がりました。班ごとに自分たちで作ったかたら餅をおいしくいただくことができました。

かたら餅作りの後はそば打ちです。この日は昨年も来ていただいた、志学にある「そばカフェ湯元」というお店を営んでおられる方を講師にお招きして、十割の三瓶そばを打ちました。まず、講師の方のデモンストレーションを見て学んだあと、班に分かれてそば打ちをしました。初めてそばを打つ子もいましたが、講師の方が丁寧に教えてくださったので、上手にそばを打つことができました。



ピザ作り&五右衛門風呂(親子行事) 6/21(土) 曇り

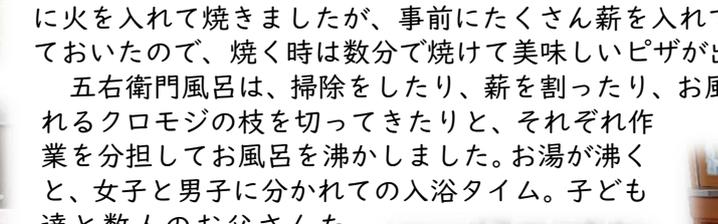
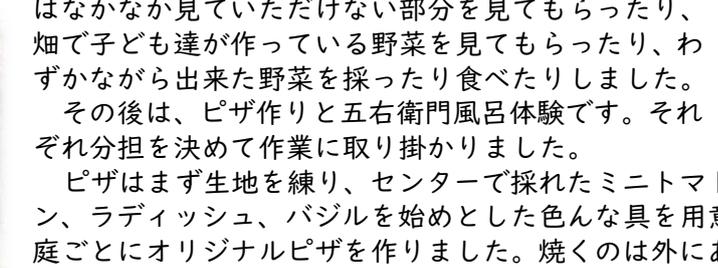
この週末は親子活動でした。1日目は、センター周辺で活動をしました。

まず、学園生が作っている野菜畑や田んぼを保護者と一緒に見て回りました。徳原の田んぼまで一緒に歩いて行って、どんな所で子ども達がお米を作っているのか、田んぼの水はどこから来るのかなど、普段保護者の方にはなかなか見ただけでない部分を見てもらったり、畑で子ども達を作っている野菜を見てもらったり、わずかながら出来た野菜を採ったり食べたりしました。

その後は、ピザ作りと五右衛門風呂体験です。それぞれ分担を決めて作業に取り掛かりました。

ピザはまず生地を練り、センターで採れたミニトマトやピーマン、ラディッシュ、バジルを始めとした色々な具を用意して、家庭ごとにオリジナルピザを作りました。焼くのは外にあるピザ窯に火を入れて焼きましたが、事前にたくさん薪を入れて火を焚いておいたので、焼く時は数分で焼けて美味しいピザが出来ました。

五右衛門風呂は、掃除をしたり、薪を割ったり、お風呂の中に入れるクロモジの枝を切ってきたりと、それぞれ作業を分担してお風呂を沸かしました。お湯が沸くと、女子と男子に分かれての入浴タイム。子ども達と数人のお父さんたちも五右衛門風呂を体験しました。外の解放感溢れるお風呂にとっても気持ちよさそうでした。



昔の生活体験（PTA共催）

6/22（日）

曇り時々雨

親子活動の2日目は、地元の子どもたちや保護者と一緒に(PTA 共催活動として)、佐津目のご美の里で昔の生活体験をしました。

ご美の里では受入農家もされている矢田の父さん母さんたちに昔の生活を教えてもらいながら羽釜ご飯、きな粉団子、豆腐の3チームに分かれて作業を開始しました。羽釜ご飯は父さんに水加減から火加減など教えてもらいました。お米が炊けてくるとご飯の良い匂いがしてきました。きな粉は大豆を炒るところからやりました。火加減が難しく少し炒りすぎてしまいましたが、その炒った大豆を石うすで挽いてきな粉にしました。出来立てのきな粉は香ばしくて美味しかったです。団子は母さんに教えてもらいながら作りました。豆腐は父さんと母さんの共同作業です。長年作ってきたお二人の呼吸はピッタリ。美味しい豆腐が出来ました。それぞれ完成すると、みんなで盛り付けをして一緒に頂きました。炊き立ての羽釜ご飯はおこげまで美味しく、みんなたくさん食べていました。この活動を通して、地元の子どもたちや保護者とも交流することができ、有意義な1日でした。



魚津海水浴 自炊活動

7/5（土）

晴れ

いよいよ今シーズン初の海活動は静間町の魚津で海水浴をしました。海へ着くと、まず海や周辺の危険事項などの確認や、準備体操などしてから海へ入りました。午前中はシュノーケルの使い方や泳力チェックをしました。この泳力チェックを通らないとライフジャケットを脱ぐことが出来ず、ライフジャケットがあると、深く潜ることが出来ないのです。子ども達にとっては何とか泳力テストをクリアしたいところです。しかし、泳ぐことは慣れていても、海の活動をライフジャケットなしで行うためのテストは厳しいため、ほとんどの子がチャレンジするも合格は3名だけでした。その後は昼食をとって休憩した後、午後はバディ毎に夕食のおかずにする獲物を狙いました。この日は風が強く吹いていたため、外海に行くことができなかったため、近場の岩場でボベ貝を採取する子がほとんどでしたが、ヤスを持っている子で魚を突いてゲットした子もいました。

海での活動が終わると、もともと海岸で飯盒炊爨をする予定でしたが、あまりに風が強かったため、センターに戻ってから自炊をしました。メニューは海の幸ラーメンです。ボベ貝のダシが出て、いつも以上に美味しくいただきました。



島津屋海岸清掃&海水浴 7/6 (日) AM 晴れ

この日は早朝から朝山町の島津屋海岸の清掃活動に参加しました。毎年、海水浴やキャンプ等でお世話になっている島津屋の自治会の皆さんと一緒に、海岸の漂流物ごみ拾いをしました。継続生の中には「ちょっと昨年よりきれいじゃない？」と言っている子もいましたが、それでも海岸は漂流物でいっぱいです。1時間ぐらいでしたが、みんなあちこちへ散って黙々と拾っていました。終わった後、海岸を見てみるととてもきれいになり気持ちよく終われました。

その後、午前中はその海岸で海水浴をしました。前日の獲物とりとはまた違い、今日はみんな自由に楽しみました。浮き輪でプカプカ浮いている子、防波堤からの飛び込むこと様々でしたが、それぞれ海を満喫していました。



1 学期大掃除 7/6 (日) PM 晴れ

午前中海の活動をした後、センターの大掃除をしました。自分たちが使っているセンターを学期に1回普段の掃除では手の回らないところを中心に掃除をします。今回は、備品庫や玄関、作業棟の整理、2階の部屋の布団干しなどをきれいにしました。海の活動の後で少し心配しましたが、子ども達は誰もが集中して取り組んでいました。「布団干したら太陽のにおいがして気持ちいい」「きれいになったらスッキリする」と子ども達も自分たちの仕事に満足気でした。短い時間でしたが、各々が自分の役割をしっかりと果たし、協力しながら掃除をすることが出来ました。



島津屋海キャンプ 7/12 (土) ~ 13 (日) 晴れ

海の活動第2弾、この週は島津屋の海岸で1泊2日の海キャンプを行いました。この日も、風が強く波が大きかったため、湾内での活動になりました。今回は、1泊2日の泊まりのため、着いたらまずテントを設置してから始めました。早く海に入りたい学園生はいつもより動きが良く、テントも海の準備も早々に済ませ海に入ることが出来ました。初日は午前中も午後も夕飯で使う獲物探しです。少しこの日は海水が冷たかったため、思うように海に入れない子もいましたが、みんな必死になって見つけていました。とはいえ、なかなか思うようには収穫できず、ゴベ貝がほとんどでした。海の活動を終わると次はいよいよ自炊活動です。海での





バディ毎に獲れた獲物と持ってきた野菜でそれぞれが工夫をして夕ご飯作りをしました。自炊活動も回数をこなしてきている学園生は火をつけるのも上手になり、全部の班が明るいうちに食事が完成しました。ほとんどの班がポベご飯にポベスープと言ったメニューになっていましたが、味付けはそれぞれでどの班もとても美味しそうでした。食事中には夕日が海に沈む瞬間が見えたり



して素敵な景色に出会いました。夕食後は、片付けをして各々就寝準備をしてテントに入って休みました。



2日目は、まず、指導員が夜に仕掛けを沈めておいたので、そこに何か獲物が入ってないかチェックに行きました。すると、一つのペットボトルの仕掛けに1匹のカサゴがかかっていた。一人ひとりペットボトルを切って作った仕掛けだったため、その名前の子の班がカサゴをゲットしましたが、ゲットした子が上手に調理してみんなに一口ずつ分けてあげていました。その後は班ごとに朝食を作って食べ、片づけをしたら再び海へいきました。これが最後の海活動、みんなで海水浴を楽しみました。防波堤からの飛び込みでは、流行りの歌を歌いながら飛び込むことが流行っていて何度も何度も飛び込む子がいました。前日より海も澄んでいたのが魚なども見つけやすくなっていて、ずっと潜って魚や貝、ヒトデなどを見つける子もいたり、ずっと浮き輪に乗って泳いでいる子もいましたが、各々最後の海を楽しんでいました。この日の午前中で海の活動は終わりました。その後は帰って片付けをしました。2日間、存分に楽しんだ子ども達は、疲れていたと思いますが、最後の片付けも手を抜かずに最後までやり遂げました。天候にも恵まれ存分に楽しんだ海の活動でした。



畑の様子

センターの畑も最初は苗等が小さくて心配しましたが、暑さと共に苗も伸びてきて実をつけるようになってきました。6月にはラディッシュや春菊の収穫、7月に入るとピーマンやキュウリ、トマト、インゲンなども収穫できるようになってきました。しかし、畑は収穫だけではなく、草もどんどん伸びてきます。7月は学校に行く前の朝の涼しい時間に30分~45分ぐらい草抜きをしました。ちょっとするととても綺麗になって気持ちよくなるのは子ども達も感じているようで、「達成感が凄い!」「綺麗になって気持ちいい」といった声も聞こえてきました。子ども達の畑も収穫できるものが出てきて、各々調理をしたり、夏休み持って帰るよう準備をしたりしていました。帰省前にはじゃがいも掘りもしました。たくさん掘れたので夏休みにお土産として持って帰りました。



五十猛祭 7/19 (土) AM 晴れ

この日は五十猛漁港で行われるお祭りに、北三瓶っ子太鼓クラブとして参加し太鼓を発表させていただきました。今年は多くの中学生が引退し、そして小学3年生からも参加できるようになったため、小さい子が多い集団となり太鼓初心者が多い中、この日の発表に向けて練習してきました。今年

度初めての発表に緊張している様子の子も達でしたが、本番は大きな声も出て元気に発表できました。

太鼓の発表後には、ビンゴ大会や、漁船に乗っての航海体験もさせてもらい、貴重で楽しい経験をさせていただきました。



西村崇司のつぶやき

＼＼リスクリング／

「最近、ビワをよく見かけて西村さんを思い出すので手紙を書くことにしました。西村さんはきっと『手紙の初めは時候の挨拶だろ!!』と言うと思うけれど、わたしには難しいので省略させていただきます。6月24日消印、今年3月卒園した学園生から届いた手紙の書きだしはこうでした。いやいやちょっと待って、じゅうぶん時候のあいさつではじまっていますよ、それもあなた自身の気持ちがじゅうぶん伝わってくるよ、とまず思ったところですが何より一緒に過ごしたごく短い期間のそれもささいな出来ごとを思い出し手紙を書いてくれたこと自体がとても嬉しかったです。自宅でとれる果物などを子どもたちに差し入れることが時にあります。品位と数量は年々落ち込んでいます。たとえば、ビワにしても「なり年」であればもっと甘くて大きなものをたくさん持って行った年もありましたが年々おぼつかなくなっています。その原因は、天気などに左右されることを除けば収穫時期に休みがとれず長雨が続き実が傷んだり、最近では近いうちに収穫しようと思っていた矢先にサルが瞬間風速で根こそぎとってしまうことが多くなってきたことによります。さかのぼると、10数年前までは摘果をして防虫や防鳥、葉擦れによる傷つき防止用に袋掛けをしていてこれはこれできつい作業でした。しかし、袋が目印となり寄ってくるカラスやサルが増えたためやる気も失せ今はやっていません。また、ビワやモモの袋掛けがしてある樹を見かけることもありません。それどころか有害鳥獣をおびき寄せる果樹はたとえ人家近くといえども切り倒さざるを得ない状況になっていて、大田市内でも多くの集落で直面している課題のようです。

さて、いつの頃からか「国を挙げてリスクリングを推進します」「リスクリングの先に新たな雇用の機会が増えます」というような表現を見聞きすることが多くなりました。最初聞いたとき、リスク (risk) をとることを推進する？是とする？と違和感がありました。ほどなく、能力や知識 (skill) の再教育や再開発を意味するリスクリング (Reskilling) だということがわかりました。しかし、デジタル技術の進展についていけるように勉強をしないとその先はありませんよ、とっているようでその無機質さやのっぺらぼうさに違和感があり、また、勉強しろとおい立てられているような気がします。新しいことを学んだり学びなおしをすることはとても大事であり魅力的です。しかし物理的な時間は有限です。身の回りのことやその変化をもっと体全体で感じて考え、みんなで語りあう機会を持つことがもっと大事なような気がしていますがいかがでしょう。ところでリスクリング、「リ (ちょっと間をあけて) スキリング」と言ってもらうとわかりやすいんだけど、ひとりごちています。また、はんらんする外国語やカタカナ言葉の勉強も求められていますね。

「くにびき通信」2025年度 第4号



大田市
山村留学センター
Sanbe Kodama Academy

〒694-0002 島根県大田市山口町山口1694

TEL: 0854-86-0700 FAX: 0854-86-0701 Email: o-sanryu@city.oda.lg.jp



大田市山村留学センター
公式ホームページ



ハックアンバー